ありんこルーム 放課後等デイサービス

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ありんこルーム			
○保護者評価実施期間	R8年　1月　13日	～	R8年　1月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	29	（回答者数）	25
○従業者評価実施期間	R8年　1月　13日	～	R8年　1月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年　3月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動あそびを通して、身体を動かし発散することで〝楽しみの中からの学び〟へと繋げていく。	協調性への育み、感情のコントロールの面に関しては、都度その子どもに合った対応をマンツーマンで行う。	一人ひとりの子どもの特性理解を行い、その子どもに応じた内容を提供していく。
2	近くに広い私有地、神社があり活動が幅広く行えていること。	同世代の職員が多く、子ども達に対する情報共有や意見などを話し合える場があり、同じ方向性をもって支援できていること。	ケース会議などを行い、一人ひとりに合った支援をより一層深められるよう職員のレベルアップをしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上、動線が作りづらい。 (手洗い場が一カ所な上に、奥にあるため)	構造上、変化させることが難しいため、動線を分かりやすく環境の設定に工夫していく。	・パーテーションを上手く活用しながら環境設定に努める ・個別スケジュールや手順書等の活用で、その子どもの理解をすすめられよう配慮する。
2	利用人数や特性の多い児童が多い中で、手厚い支援が行われる職員が不足していること。	備品が多く管理や掃除が行き届いていなくて、衛生面に不安があること。	役割分担を細分化して、空き時間を上手く利用しながら、環境面、衛生面を強化していく。
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ありんこルーム

公表日　R8年　4月　2日

利用児童数　29名　　回収数　86.20%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2			広いスペース、区切られたスペース、屋外等その時々に合わせて活動できていると思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	4		4	スタッフのみなさんのバランスは良いと思っていますが、実際の利用日にどの程度の人数で子ども達が活動しているのか見ていない為。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	3		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	3		1	明るい内装できちんと整理されている印象。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1			・その時の状況で対応が難しいのかなと思うことがある。 ・専門的な視点からたくさんアドバイスをもらっているので安心している。 ・子どもの性格を知ってくれているので対応も早く助かっています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	20			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				モニタリングや送迎時、しっかり話をきいてもらっており満足している。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		1	子どもに必要な事をしっかり見てもらい柔軟に対応してもらっている。自由あそびも毎回違い楽しそうにしている。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	3	4		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				しっかり丁寧に説明してもらった。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	1		同上	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	2	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1			・送迎時に、今日の様子や活動内容を伝えてもらっている。 ・迎えの時、特に子どもの様子を伝えてくれることがあまりないと思う。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4			モニタリングや連絡帳などで助言してもらっている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2			話しやすい雰囲気で相談しやすく安心できている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	2		1	イベントを開催され、保護者同士の会話の橋渡しもされていた。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1	曜日変更の際は、入念に説明されしっかり保護者、本人の理解を得てスムーズに移動できた。	

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2		1	配慮していただけていると思う部分と思わない部分があり、判断の基準が分からない。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	3		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2		4	説明は受けたとは思いますが、訓練はしたことないと思う。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	19			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22				・何かあっても話がしやすいスタッフの方たちなので色んなことを話している。 ・毎回ニコニコして通所しています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1			・みんなと一緒に様々な体験をすることで楽しみながら自信をつけていっている。 ・楽しかったと笑顔で帰ってきてくれるのでとても安心しています。 ・休みたいと言うこともなく週一回じゃ物足りない様子で毎回楽しみに行っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			・保護者では気付かない点をしっかりサポートして対応してもらっており、大変満足している。 ・丁寧に対応、支援していただき毎回ありがたいと思っています。安心してお任せ出来ています。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ありんこルーム

公表日　R８年　４月　２日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・一日の利用人数が多く、且つ動きも活発になると環境設定は必要とする。 ・広い空間をいかしながらカーテンを使いその時々に応じて仕切りを使っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		スタッフの体調不良等急な休みになると極めて難しい時もあるが、本来の規定としてはクリアしているものだと思われる	配置数は適切であるが、スタッフの休みが出ても、余裕をもって支援をしていける職員数が必要なのは課題である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	動きがある子どもが多いためマットがずれやすく危ない時がある。	来年度までにマットの張り替えを検討中。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・清潔面でなかなか掃除が行き届いていない。 ・おやつ等を食べる場所の掃除、今後、時間を取り、隅々まで掃除をしていく。	朝から毎日５分程度掃除の時間を設ける。 (５S活動＝整理・整頓・清掃・清潔・躾)
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	場所的には、広くて動きやすいが、少し落ち着きたい時の小さく、狭くてもいいので個別室が欲しい。	検討はするが、安全面を考えたら現状難しい。今あるスペースを上手く利用できたらと思う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・振り返りは日々行われていて情報共有ができている。 ・目標設定、振り返りは可能な限り全職員が参加していると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の意向などは共有できていると思う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間での意見交換はできていると思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	外部評価を行う機会は、設けることができていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・外部研修を受講する機会はあるが参加者が限られた職員のため、法人内研修を充実させる必要がある。 ・研修受講はできる状況にはあるが平日に開かれるものなどはなかなか参加が難しい。 ・職員の資質の向上、基本的な言葉遣いができていないと思う。子どもに対して発してならない言葉を意識して欲しい。	支援の研修はもちろん必要だが、それ以前に、接遇など職員研修などはなかなかできていなかったので、研修を入れていく必要がある。基本的な所からもう一度勉強するいい機会になると思う。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		どのような支援が必要であるかは共有できている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	1	・子どものその時々に合わせた支援に必死になってしまうことも多いと感じている ・ほぼできていると思う	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	標準化ツールの導入までには至っていない。必要に応じて使用している状況。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		直接、携わっていないが工夫されていると思う	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別・集団活動の組み合わせ、支援行われていると思う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		時間が許す限り、共有確認はできている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・翌日に振り返りを行っている。 ・100%ではないが、気付いた点の共有はできていると思う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		長期休みの際の記録管理が滞ってしまうため課題である。	長期休みの時は、記録を書くのが難しいので、隙間時間に書くかノートに取るか、良い方法を検討中。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		それぞれの職員が意識していると思う。 個人的には行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	前例なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	全職員ではないが参加されていると思う。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・研修としては取り組めていないと思う。 ・個人的には、ペアレントメンター養成研修も受講している。何らかの形で活かしたいと思う。	
適	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		・年に二回ほど親子イベントを開催している。多くの利用児、保護者に参加してもらっている。 ・夏祭りや保護者参加のイベントを企画して交流の場を作り楽しみにしているところもある。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		年三回のおたよりを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1		・地域住民との交流はなかなか設定出来ていないのが現状である。 ・地域の方と接することがあまりない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		分担しながら定期的に研修を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		不審者対応など必要な訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的な研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			